



冬の動物園は4月7日まで
(4月8日～25日の間、動物園はお休みします)

ASAHIYAMA Zoo

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

雪の中での
あったかコート

白い冬毛の ホッキョクギツネ



以前、飼育していた
ホッキョクギツネ



現在、飼育している ホッキョクギツネ

なぜ違う？ ホッキョクギツネの毛色

	白型	青型
夏	灰褐色	暗褐色
毛色をあらわす言葉は微妙に違いますが、写真で比べてみると同じような毛色に見えます。		
冬	白色	青灰色
白型は全体が真っ白なのに対し、青型では顔や首周りに灰色っぽい毛が目立ちます。		

2012年11月にドイツの動物園生まれのホッキョクギツネがやってきました。検査などを終え、オスとメスの2頭を昨年の夏から展示しています。展示を開始した当初は夏毛で濃い毛色をしていましたが、徐々に冬毛に生えかわり白くなっていく様子が見られました。しかし、厳冬期がすぎ、とくに冬毛に生えかわっているはずなのに、いつまでたっても真っ白になりません。右上2枚の写真は、以前飼育していたホッキョクギツネの冬毛の様子です。雪の上にいると、どこにいるかわからないくらい真っ白だったのに、現在飼育しているホッキョクギツネはどこか様子が違います。

本で調べてみると、ホッキョクギツネの毛色には<白色型>と<青色型>の2種類あることがわかりました（紙面では白型、青型と表します）。以前飼育していたホッキョクギツネは<白型>で、今飼育しているホッキョクギツネは<青型>のため、毛色が違うのです。

ホッキョクギツネは北極近くに生息しており、地域によってかたよりがあることがわかりました。カナダ北部では、青型は全体の1%に対し、グリーンランドでは青型が過半数を占めています。ホッキョクギツネのくらす環境がどれくらい雪におおわれるかで、その割合が決まるようです。

この個体はどの地方の血縁なのか、想像しながら観察するのも面白いものです。夏毛になる前に、あらためて冬毛のホッキョクギツネに会いにきてくださいね。

グリーンランドでは
白型<青型>

グリーンランドでは
青型が半分以上

ホッキョクギツネの生息域

ヨーロッパやロシアでは??

北米では
白色型>青色型

カナダでは
青型は全体の1%



2012年 春
ドイツの動物園
生まれ

以前飼育していた個体
2002年 春
カナダの動物園生まれ

参考にした図書・資料
・野生イヌの百科 データハウス
・アニマルライフNo.122 日本メール・オーガー社
・モユクカムイNo.65 旭山動物園機関誌

冬の開園は4月7日まで！みんなでホッキョクギツネの冬毛を見に行こう！